

ばれいしょ 栽培のポイント

<栽培ポイント>

- 1 連作により病害虫が増加。**ばれいしょの連作は、**土壌伝染性病害や虫害の発生を増加させ、ばれいしょの品質や収量を低下させます。**地域の栽培環境に**合った適切な輪作を実施しましょう！**
- 2 乾湿ストレスに強いほ場づくりが重要。**排水不良地では、大雨・長雨等でほ場が**滞水した場合、塊茎腐敗を起こしやすくなります。****適切な土づくり・排水対策を行きましょう。**
- 3 過剰な施肥は収量・品質が低下。**土壌診断結果を踏まえ、**品種特性、用途を考慮した適正量を施用しましょう！**
- 4 自家採種は発芽不良や病害発生の原因。**種子ばれいしょは、**無病種いも（検査に合格した種いも）を使用しましょう！**
- 5 病害虫の被害やまん延を防止。**防除や抵抗性品種の導入など**適切な病害虫対策を行きましょう！**
- 6 適期・適時の収穫が重要。**収穫はできるだけ晴天時に行い、雨天及び土壌水分の多いときの収穫は避けるとともに、**収穫時の皮むけ、傷、打撲等の発生を防ぐため、収穫機の調整・作業速度に留意しましょう！**
- 7 野いもは病害虫の伝染源。**後作への悪影響を防止するため、**除去に努めましょう！**

ばれいしょ主産地における代表的な栽培暦

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【春植え】												
北海道												
関東												
九州												
【秋植え】												
九州(本土)												



ここに紹介します留意事項は、ばれいしょを栽培する際に特に留意すべき内容を列記したものです。また、地域や作型、栽培方法によっては該当しない内容も含まれます。

実際の栽培にあたっては、地域のJAや普及指導センター等に問合せいただき、ほ場条件や品種に適した施肥設計、栽培方法等に基づき栽培してください。

ほ場準備

<連作の回避>

- ・ 連作は、そうか病、黒あざ病等の土壌伝染性病害やアブラムシ、ジャガイモシストセンチュウ等の発生を増加させ、ばれいしょの品質や収量を低下させます。

対策のポイント

- ✓ 地域の栽培環境に合った適切な輪作を実施する。

<土づくり・排水対策>

- ・ 近年の農業機械の大型化・重量化にともない、耕盤層の堅密化、土壌物理性の低下が見られ、排水不良地化を招く場合があります。
- ・ 排水不良地では、大雨・長雨等でほ場が滞水した場合、塊茎腐敗を起こしやすくなります。
- ・ 土壌中の有機物が少なくなると、土壌物理性が悪化します。

対策のポイント

- ✓ 深耕・心土破碎等の土層改良により、作土層を膨軟にして根域圏を確保し、乾湿ストレスに強いほを作る。
- ✓ 秋植えでは、植付け時に干ばつとなることが多いため、土壌水分が保持できるよう耕起の深さ、砕土等に留意する必要がある。
- ✓ 完熟堆肥などの有機物を適量施用する。

<融雪促進>

- ・ 積雪地域では、播種作業が遅れないよう、融雪促進に努める必要があります。

対策のポイント

- ✓ 融雪剤を用いる場合、吹きだまりや防風林の際など積雪量の多い場所には確実に散布する。
- ✓ 融雪剤は均一に散布せず、ムラに散布することにより、雪解けが始まった時に表面積が広がり、より融雪が促進される。
- ✓ 融雪水がほ場に停滞することがあるので、排水溝が十分に機能するように整備し、速やかに融雪水を排除できるようにする。

<施肥>

- ・ 過剰な施肥は、収量・品質の低下を招く場合もあります。
- ・ 窒素の過剰施用は軟腐病等の病害や中心空洞、二次生長などの生理障害を助長し、収量・品質の低下を招くことがあるので注意しましょう。
- ・ カリの過剰施用はでん粉価の低下を招くので注意しましょう。

対策のポイント

- ✓ 土壤診断の結果を踏まえ、**品種特性、用途を考慮した適正量を施用**する。

<種いも準備>

- ・ 自家採種は、発芽不良や種子伝染性病害の発生につながるおそれがあります。

対策のポイント

- ✓ **無病種いも** (検査に合格した種いも) を使用するとともに**種いも消毒**を実施する。
- ✓ **浴光催芽**により、**萌芽不良の種いもや傷害いも**を除去し、**萌芽の斉一化、生育の促進**を図る。秋植えで、十分に休眠の覚めた種いもを用いる場合は、浴光催芽は必要ない。
- ✓ **種いもを切断**する場合は、**病害の伝染を防ぐために切断刀の消毒**を行う。

<植付>

- ・ 生育日数をできるだけ長く確保することで収量を確保しやすくなります。
- ・ 過湿土壤条件での無理な植付作業は、土壤物理性を悪化させ、透・排水不良による生育抑制につながります。

対策のポイント

- ✓ **地域の適期内での早期の植付**を行う。
- ✓ 降雨直後の植付作業は避ける。
- ✓ **品種や用途に合った適正な植栽株数を確保**する。

<中耕・培土・除草>

- ・ 中耕は、雑草を除き土壤を膨軟にし、土壤水分を適度に保ち空気や水分の流通を良好にし、地温を上昇させて肥料の分解を促進します。
- ・ 培土は、緑化いもや腐敗の防止、塊茎肥大域の確保、根圏の拡大、保水力の増加、干害、倒伏の防止、雑草抑制、収穫時の受傷防止等の効果があります。
- ・ 中耕・培土を効率的に行うことで雑草の発生を抑え、除草剤の使用の抑制につながります。

対策のポイント

- ✓ 中耕は、**萌芽始期からはじめ着蕾期までに終わらせ**、土壤水分の高い状態での作業は避け、**晴天時に実施**する。
- ✓ 培土は、**着蕾期までに終わらせ**、**土壤水分が高い場合や培土後2日以内**に降雨が予想される場合は避けることが望ましい。
- ✓ **除草剤の使用は散布基準を遵守**する。また、**散布に当たっては近接する農作物に飛散しないように風向き等に注意**する。

芽かき

<芽かき>

- ・ 着いも個数の多い品種を生産する場合など、いもの揃いや大いも生産を目的とした芽かきが有効です。

対策のポイント

- ✓ 萌芽揃い後、1株当たり1～2本になるように芽かきを行う。

病害虫対策

<病害虫対策>

- ・ ばれいしょは、疫病、軟腐病、そうか病、アブラムシ類、ジャガイモシストセンチュウ類などの病害虫による被害が生じる場合があります。

対策のポイント

【農薬による防除】

- ✓ 地域や作型によって、病害虫の発生状況は異なることから、**地域の病害虫の発生予察を活用し、防除基準に基づき、適切な対策を実施**する。
- ✓ **近隣に農薬が飛散しないよう、風向き等に注意し、適正に散布**する。

【土壌伝染性病害（耕種的防除）】

- ✓ 粉状そうか病、そうか病、黒あざ病など土壌伝染性病害を回避するため、**非宿主作物を入れた輪作**を行う。
- ✓ **無病種いも（検査に合格した種いも）**を使用する。
- ✓ **抵抗性品種を導入**する。
- ✓ 病害の発生しづらいほ場環境（**土壌pHの調整、透・排水性の改善等**）を作る。

【ジャガイモシストセンチュウ類対策（耕種的防除）】

- ✓ 植物検診や土壌検診を実施し、**早期発見に努める**。
- ✓ **無病種いも（検査に合格した種いも）**を使用する。
- ✓ **センチュウ発生密度に応じて抵抗性品種、対抗植物（トマト野生種、ハリナスビなど）及び非寄主作物を組み合わせた適正な輪作**を行う。
- ✓ 発生地区において、使用した農業機械や運搬車輛等の洗浄や履き物の履き替え等により土壌の移動を防ぐ。
- ✓ 野良いもの除去を行う。

<茎葉処理>

- ・ 茎葉処理は、事前に試し掘りを行い塊茎の肥大状況を確認して行いましょう。

対策のポイント

- ✓ 茎葉処理に植物成長調整剤を使用する場合は、使用基準に沿って適正に施用する。
- ✓ **茎葉枯凋後は収穫まで長期間放置しない**ようにする。

茎葉処理

<収穫・選別・調製>

- ・ 収穫は、事前に試し掘りを行い、塊茎の状況を確認して行いましょう。

対策のポイント

- ✓ 収穫はできるだけ晴天時に行い、雨天及び土壌水分が多いときの収穫は避ける。
- ✓ 収穫時の皮むけ、傷、打撲等の発生を防ぐため、収穫機の調整・作業速度に留意する。
- ✓ 腐敗いも等の選別を確実に行う。

【特に生食用ばれいしょ】

- ✓ 収穫後、いもの緑化を防ぐため、長時間日光に当てないように注意する。
- ✓ コンテナ等への収納作業も、いもに打撃を与えないように注意する。
- ✓ 収穫後は、傷いも、罹病いも、奇形いもを選別除去し、いも表面が乾燥してから庫内に収納し、換気を行って呼吸熱を沈静化させ表皮のコルク化を促進してから箱詰め作業を行う。

<野良いもの除去と管理>

- ・ 野良いもは、病害虫の伝染源となるので除去に努めましょう。
- ・ ばれいしょの塊茎は、埋設位置の地温が日平均-3℃を下回らないと越冬可能です。このため、土壌凍結しないほ場では、野良生えして、後作物に悪影響を及ぼします。

対策のポイント

- ✓ 野良いもを防止するため、収穫の際には収穫機（ポテトハーベスタ）のコンベアのロット調整、速度調整を行い、小粒塊茎の落下防止する。
- ✓ 積雪地域においては、雪割りや雪踏みを実施する。
- ✓ 雪割りや雪踏み等ができない地域においても、拾い残しができるだけ少なくなるように努めるとともに、野良生えの除去などを行う。

<参考資料>

- 北海道の営農技術対策
- 北海道営農改善指導基本方針
(ばれいしょに関するデータ)
- 農林水産省政策統括官地域作物課「いも類のページ」